

課題 16 松くい虫被害の防除等保護育成技術の開発（海岸マツ林除伐技術）

九州森林管理局 森林技術センター

1 課題設定の主旨

海岸マツ林の下木のニセアカシア等の除伐（一部堀取り）を実施し、マツ類と共生する菌類を増殖し、松くい虫被害に対応し得る健全なマツ林の造成技術を開発する。

2 試験地の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 設定期間 | 平成8年度～平成17年度 |
| (2) 試験地の場所 | 宮崎森林管理署管内 前浜国有林94は3林小班 |
| (3) 設定林分 | クロマツ海岸林（66年生） |
| (4) 実施面積等 | 面積 0.20ha（上層木：クロマツ159本）
マツエース5割散布0.1ha，無散布0.1ha |
| (5) プロット | 除伐区内に樹勢木調査区：10m×10m（クロマツ9本）
対象区：10m×10m（クロマツ13本） |

3 除伐方法

- (1) ニセアカシア一部堀取り・雑草木刈払い（全刈）
- (2) 落枝落葉及び地表苔類の除去
- (3) 除伐木を区域内に集積

4 現況

落葉，落枝，ニセアカシア，地表苔類等を除去し，地表を裸地化する事により，クロマツの細根（菌根）の成長を促進し，樹勢の回復活性化を図るため平成8年から11年までニセアカシアの堀取り除伐及び林内清掃を実施した。しかし，ニセアカシアはぼう芽の再生力が旺盛で，わずかな地下茎でも発芽するために，完全に除去出来ていない。間伐試験地内のクロマツは，判別できるような樹勢の回復は見られないが，設定時から現在まで松くい虫被害は殆ど受けていない。

宮崎県一ツ葉海岸全景



立木密度



9年度除伐実行前



除伐実行箇所（平成9年度）



9年度除伐実行後



11年度除伐実行後